

P111

○岡山直人・吉田康徳・井上みずき・Koh ,Y. J・戸田 武・古屋廣光・藤 晋一

日韓両国で得られたヤマノイモモザイクウイルス(JYMV)および JYMV 感染ヤマノイモの遺伝的多様性

Okayama, N., Yoshida, Y., Inoue, M., Koh ,Y.J., Toda, T., Furuya, H. and Fuji, S.

Genetic Diversity of *Japanese yam mosaic virus* and Infected Yam (*Dioscorea* spp.) Plants in Japan and Korea

演者らは、これまで本邦の自生ヤマノイモから JYMV が広く検出され、それらヤマノイモの多くは栽培種とは異なることを報告した。今回、調査域を韓国南部に拡大し、日韓両国に自生するヤマノイモのウイルス感染実態調査、および感染植物のクラスター解析を行い、JYMV と感染ヤマノイモの地理的分布、多様性について調査した。その結果、韓国南部においても栽培種とは異なるヤマノイモが自生しており、これらの 1 個体から JYMV を検出した。日韓から検出された JYMV の CP に基づく系統樹解析では、JYMV は 4 つのゲノム型グループに分かれた。JYMV のゲノム型グループと自生ヤマノイモのジェネットには関連が認められ、なおかつ地理的分布にも違いが認められた。自生ヤマノイモは同一地点では単一または近縁のジェネットで構成され、JYMV ゲノムの多様性も低かった。以上のことから、JYMV と感染ヤマノイモともに種として高い多様性を持つものの、地域個体群としては選抜淘汰されている可能性が示唆された。

「ウイルス・ウイロイド病」、「分類・同定」